

無知・ウソ・非常識

全議員協議会 I 議員、Y・A 議員の発言

委託業者だけを悪者に

市の不正な入札に抗議するため、委託清掃労組がおこなったストに関して、一月十二日に全議員協議会が開かれた。その場で、I 議員や Y・A 議員らが問題発言、無知や見識の無さが露呈した。

今回のストは、現行委託業者二社の一部の従業員がつくる柏原委託清掃労組(自治労傘下)が実施した。市が実施した不透明な入札に対する抗議申し入れが無視されたため、法にもついていた手続きを経て実施されたもの。

今回のストは、現行委託業者二社の一部の従業員がつくる柏原委託清掃労組(自治労傘下)が実施した。市の業務を取りあげるべきとも取れる発言を聞いた。しかし、前述の通り実際は二社の従業員でつくる労組が実施したのであり、朝日新聞など一般紙にも明記されている。

I 議員は、たまた無知か、それとも故意のウソか、いずれにせよ労働者の権利を否定する非常識な発言だ。また、Y・A 議員もそれに

事実誤認し業者を攻撃する I 議員

ところが、I 議員は浜浦クリーン一社が不当におこ

数年にわたって「ゴミ収集を委託から入札にするべき」と主張し続け、昨年それを実現。その結果、Y・A の親や親族が経営する同族業者が入札対象地域の半数近くも落札したのだ。今回のストは、この不正入札疑惑に対する抗議であるため、いわば Y・A 議員はストの原因をつくった張本人とも

スト原因つくった張本人、Y・A 議員

言えるわけだ。

しかも彼女の親が経営する業者は過去に大きな問題を起こした業者。厳重に注意しなければならぬいほど

ちらだろうか。また、I 市市民生活部長ら市側の認識も問題。地方自治法が義務づける市の対応への理解が不十分だった。

「おひげのじい」市民の声

Y・A 議員と親族業者、そして岡本市長との関係に象

徴されるように、権力者にすり寄る議員や業者が甘い汁を吸ってきたのが柏原市の汚職体質だ。柏原市民でもある組合員のストは、このことへの市民としての抗議という側面もある。そのため、今回のストに理解を示し委託業者を激励する市民も少なくなかった。

許されぬ非道

以下は浜浦クリーンに寄せられた市民の声。子供を

はまうら佳子の元気になるコラム

委託清掃労組が、ゴミ収集のストをおこなった1月6日は、雪が舞うほどの寒い日でした。

一部は、雪が舞うほどの寒い日でした。一部は、雪が舞うほどの寒い日でした。一部は、雪が舞うほどの寒い日でした。

自分がやってみて、ゴミ回収の従業員さんたちの大変さが、よくわかりました。寒い日も、暑い日も時間通りにきちんと回収されていること、もっと感謝せなあかんと思いました。

電話を切った後も、じーんとした温かさが残るその言葉に私こそ感謝でした。



「自分でやってみて、ゴミ回収の従業員さんたちの大変さが、よくわかりました。寒い日も、暑い日も時間通りにきちんと回収されていること、もっと感謝せなあかんと思いました。電話を切った後も、じーんとした温かさが残るその言葉に私こそ感謝でした。」

パトロール

一月六日に実施されたストで、柏原市内では七割の世帯に家庭ゴミ回収の遅れが出た。いつもなら、午前の早い時間にゴミは回収され、街は美しく保たれる。しかしこの日、ゴミは夕方まで放置されたまま▼カラスやネコが袋を食いし、中身が散乱したステーションもあった。もし夏だったら、ひどい悪臭が漂ったことだろう。家庭ゴミ回収業務が市民生活に密着していることを改めて思い知らされた▼ストは労働者の権利であることも、市側に非があることもわかつていて、それでも、全国初とも言われる委託収集業者のストが柏原で実施されたことは残念でならない▼本紙がこれまで報道してきたこともあり、今回のストに理解を示す市民が少なからずいたのは事実だ。しかし、そのことには甘えてはいけない。これまで通り、市民生活を守る大切な業務を請け負っているという誇りを忘れないでほしい。

かしわら 単語帳

いまの柏原を知るためのキーワードを毎回解説します。

【べったり】

市民の利益ではなく、自分たちの権利のために醜く結びつくさま。



どこかの市長さんの「お気に入り」議員さんは、市長のためなら議会でも平気でウソをつく。かなりキモチウイ関係ですが、甘い汁を吸うためにはしたくないのでしょうか。

速報

柏原新聞が掲載した事実無根の中傷記事に対して、浜浦クリーン側が名誉毀損で同新聞社を告訴した裁判の公判が1月31日に開かれ、浜浦佳子議員が法廷に立つ。

浜浦議員法廷に立つ 柏原新聞の名誉毀損裁判で

同新聞は一昨年、浜浦クリーンに関して、事実を歪曲し「収集廃棄物横流し」などと中傷。オーナーU氏は岡本市長と関係が深い人物で、中傷記事を書き続けた。浜浦議員は、3年半にわたり同新聞から受けてきた苦痛や背後にある政治的利害関係など全てを、裁判の場で明らかにするとしている。

みなさんの声募集中です。



電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782

〒582-0026 柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
info@change-kashiwara.com